MS&AD インターリスク総研主催　TNFD ワークショップ

「TNFD 準備講座 3 日間コース ～TNFD メンバーと学ぶ LEAP アプローチ～」プログラム

※ 9/18 公表予定の TNFD v1.0 の内容を踏まえて、プログラムは一部変更の可能性があります

＜1 日目＞ 2023 年 10 月 18 日（水） 10:00～17:00

【TNFD V1.0 の解説／スコーピング／データの考え方】

2023 年 9 月に発表予定の TNFD 最終提言（V1.0）について解説し、TNFD の LEAP アプローチの起点である「自然とビジネスとの接点」に関する基礎知識のインプットおよび演習を行います。TNFD で重視される「データ」の考え方についても解説します。

	内容	形式
1	TNFD V1.0 解説 V1 ではこれまで寄せられた様々な意見を勘案した開示枠組みが発表されます。併せて LEAP やシナリオアプローチ等、すでに発表済みのガイダンスも更新するほか、バリューチェーン等新たなガイダンスも追加される予定です。本解説では、これらガイダンスも含め総合的に解説します。	講義
2	LEAP に向けた基礎知識①ビジネスにとっての自然 ビジネスと自然との関係性は「依存とインパクト」という二軸に整理されますが、自社の依存とインパクトを把握するには、その相手である「自然」の理解が欠かせません。本講義では、TNFD の生態系サービス分類に基づき、依存とインパクトを具体的に考察します。	講義・ 個人ワーク
3	LEAP に向けた基礎知識②ステークホルダー ステークホルダーに関するガイダンスに見られるように、先住民族や地域コミュニティを筆頭としたステークホルダーの存在が、ビジネスの文脈でも無視できません。本講義では、特に先住民族に焦点を当て、理解を深めていきます。	講義・ 個人ワーク
4	事前準備演習 自然への「依存とインパクト」には濃淡があり、すべてがビジネスにとってのリスクと機会につながるわけではありません。本講義では、セクター別のマテリアリティツールを使用し、詳細な分析対象の絞り込み方を習得します。	講義・ 個人ワーク
5	LEAP に向けた基礎知識③データ 自然への依存とインパクトの計測には自然そのものについてのデータが不可欠ですが、自然界は地域ごとの特性が大きく、GHG のように地球規模で適用可能な単位がありません。本講義では、自然についてのデータの取り扱いについて学ぶとともに、TNFD データカタログの中から複数のツールを実演紹介します。	講義・デモ

＜2 日目＞　2023 年 10 月 19 日（木）　10:00～17:00

【LEAP における Locate・Evaluate／シナリオの考え方】

LEAP における「Locate（自然との接点の発見）」「Evaluate（依存とインパクトの診断）」フェーズについて、基礎知識をインプットしたうえで、実際に演習を行います。自然関連シナリオに関する演習も行います。

	内容	形式
1	Locate のための基礎知識①優先生態系 TNFD と TCFD の最大の違いは「場所（ロケーション）」にあり、場所情報なしには依存とインパクトを適切に判断することができません。本講義では、TNFD が重視する「優先生態系」とは何か、地図型情報プラットフォームツールも使いながら解説します。	講義
2	Locate のための基礎知識②バリューチェーン 場所を考察する上での最大の課題は、自社の直接操業範囲だけではなく、上流及び下流の精査も求められる点にあります。本講義では、バリューチェーンに関する TNFD の考え方を説明し、Locate 作業での対応方法を考察します。	講義
3	Locate 演習 ビジネスにとっての重要な意味を持ちそうな場所の特定を既存のツールを実際に使用して作業します。＊作業にあたり事前に指定のツールサイトのアカウント開設（無料）をお願いする可能性があります。	個人ワーク・ グループワーク
4	Evaluate のための基礎知識①依存 ビジネスが依存している生態系サービスが今後も継続的に利用できるかは生態系の健全度と社会的制約によって左右されます。本講義では、この二つの側面を解説し、特定の場所での依存状況を検証します。	講義・ 個人ワーク
5	Evaluate のための基礎知識②インパクト ビジネスは自然に対し正負のインパクトを必ずもたらしており、自身の依存にはねかえるだけでなく、第三者の生態系サービス利用にも大きな影響を与えます。本講義ではインパクト要因とそれがもたらす自然の変化について解説し、特定の場所に与えるインパクトを検証します。	講義・ 個人ワーク
6	Evaluate 演習 仮想事例を用いて、依存とインパクトの分析を試みます。	グループワーク
7	シナリオ シナリオは事業戦略のレジリエンスを検証する有用な方法ですが、LEAP においても依存の検証やリスク・機会の考察に活用することができます。本講義では TNFD におけるシナリオの考え方を解説します。	講義
8	シナリオ演習① TNFD シナリオガイダンスで提示されているテンプレート①を使用し、二つの不確実性をグループディスカッションで考察します。	グループワーク
9	シナリオ演習② TNFD シナリオガイダンスで提示されているテンプレート②を使用し、グループでシナリオを考案します。	グループワーク

＜3日目＞　2023年10月20日（金）　10:00～17:00

【LEAPにおけるAssess・Prepare】

LEAP アプローチにおける「Assess（重要なリスク・機会の評価）」「Prepare（対応・報告のための準備）」フェーズについて、自然関連リスク・機会や測定指標など基礎知識をインプットしたうえで、実際に演習を行います。

	内容	形式
1	Assessのための基礎知識①リスク 自然関連リスクは気候変動と同様に物理リスクと移行リスクがありますが、場所により依存とインパクトからもたらされるリスクは異なってきます。本講義ではTNFDの評価測定指標も踏まえながらリスクを多角的に取り上げ、TNFD のフォーマットを用いてリスクの洗い出しを行います。	講義・ 個人ワーク
2	Assessのための基礎知識②機会 自然関連の機会は自社の依存とインパクトと直接関係するものだけでなく、ネイチャーポジティブに向けた社会全体の変化が生み出すものもあります。本講義では、インパクト要因に対する正の貢献を考察し、TNFDのフォーマットを用いて機会の洗い出しを行います。	講義・ 個人ワーク
3	Assess演習 「依存とインパクト」に濃淡があるのと同様に、「リスクと機会」も一様に財務的意味合いを持つものではなく、その大きさや発生可能性等からビジネスモデルや事業戦略に対するマテリアリティを判断することになります。本講義ではリスクと機会の優先基準について説明し、リスクと機会の優先付けを試みます。	グループワーク
4	Prepareのための基礎知識①SBTN マテリアルと特定されたリスクと機会のマネジメントには適切な目標設定が欠かせません。本講義では現在開発が進んでいる「自然に関する科学に基づく目標設定（SBT for Nature）」の方法論を解説します。	講義
5	Prepareのための基礎知識②開示指標 TNFDは測定指標（メトリクス）をLEAP段階で使用する評価測定指標（アセスメントメトリクス）と開示で使用する開示指標（ディスクロージャーメトリクス）に分けています。本講義では開示指標の構造と中核指標を解説します。	講義
6	Prepare演習①目標策定 仮想事例を用いて、マテリアルなリスクと機会に対応した目標を作ります。	グループワーク
7	Prepare演習②パフォーマンス測定 上記演習で設定した目標の進捗状況を測定する指標（インディケーター）や測定指標（メトリクス）を選びます。	グループワーク
8	総括 三日間の講座から獲得した知見と残された課題についてまとめ、全員で共有します。	個人ワーク・ 発表

【注意点】

- 原則として、3 日間とも同じ方のご出席をお願いしております。
- 参加費に交通費および宿泊費は含まれておりません。1 日目、2 日目の夜に宿泊される方は、ご自身で宿泊先のご手配をお願いいたします。
- 3 日間の昼食は事務局にて用意いたします。
- 2 日目の終了後に、参加者と講師による懇親会（無料）を予定しております。
- お申込み後のキャンセル、ご送金後の返金はお受けいたしかねます。
- 当日、メディアの取材等が入る可能性があります。予めご了承ください。
- プログラムは変更の可能性がございます。

以上